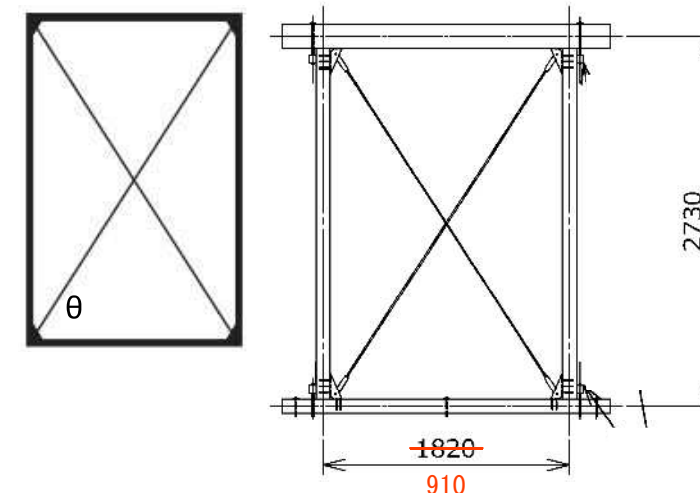
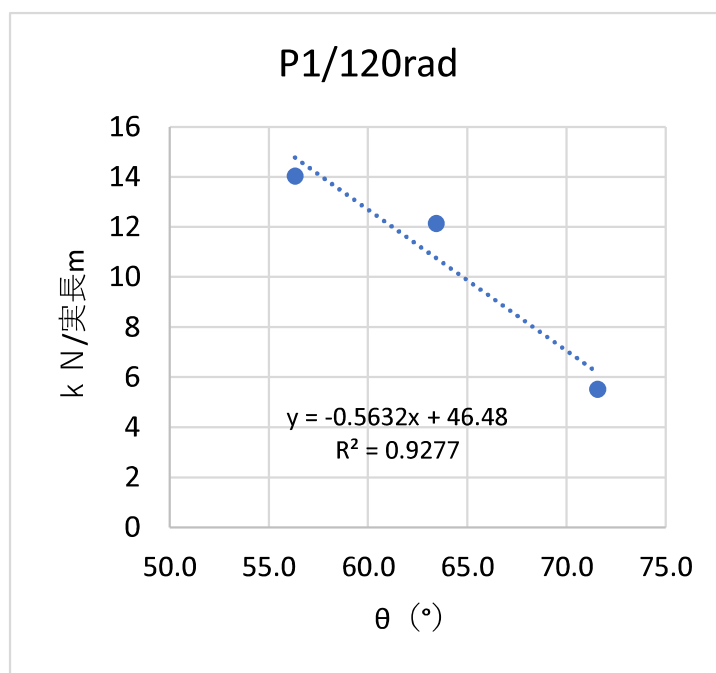
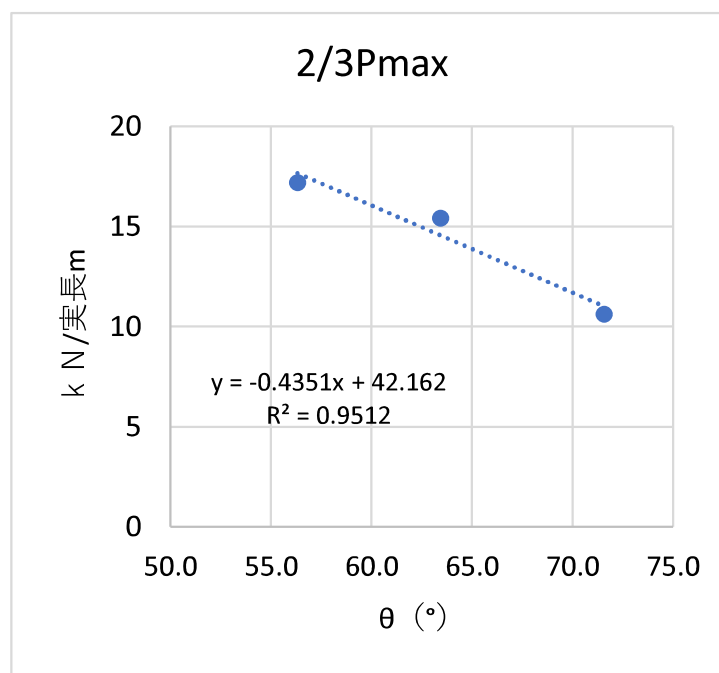
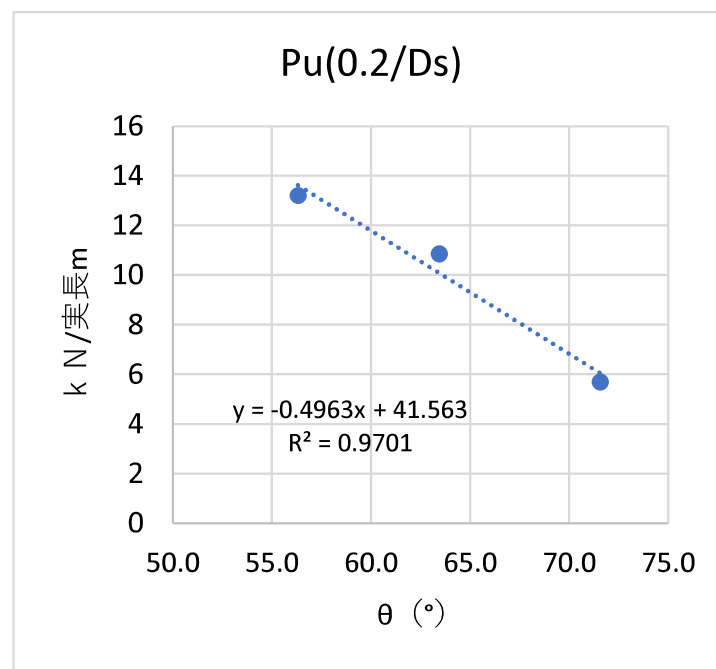
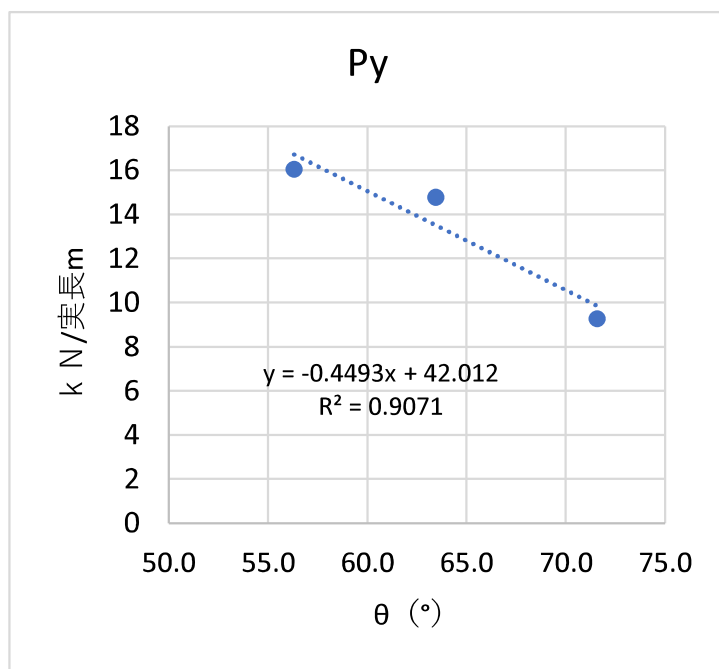


コボット ブレース角度と各種特性値の関係

	A 長さ(m)	B 高さ(m)	θ (°)	各種特性値 (kN/実長m)				①最小値	② 基準せん断耐力 kN/m < ① ÷ A >	③ 許容せん断耐力 ② × 低減係数 $\alpha = 0.9$	壁倍率
				Py	Pu(0.2/Ds)	2/3Pmax	P _{1/120rad}				
大臣認定	0.91	2.73	71.6	9.27	5.69	10.62	5.53	5.53	6.08	5.47	2.7
自主試験	1.365	2.73	63.4	14.78	10.85	15.43	12.14	10.85	7.95	7.15	(3.6)
大臣認定	1.82	2.73	56.3	16.04	13.21	17.2	14.03	13.21	7.26	6.53	3.3

既に低減係数 $\alpha = 0.9$ が乗じられております。



《 確認事項 》

- ①大臣認定で2.7倍と取得しているのので
 - ・ 1セット1構面だと2.43倍 (2.7倍 × 0.9)
 - ・ 2セット1構面だと2.43倍 × 2セット = 4.86倍
 で検討を行うという考え方で間違いはないですか？
- 大臣認定の壁倍率は、既に低減係数 $\alpha = 0.9$ が乗じられております。
※基準せん断耐力 × 0.9。
- ②メール本文の「大臣認定 (1セット使用/1構面) 2.7倍 × 1.8 = 4.8倍」の × 1.8 をする根拠が分かりません。2.7倍を2セット使用するので低減係数の $\alpha = 0.9$ を × 2 として1.8を乗じていますか？
 - 1セット1構面: 1820w × 2730h → 3.3倍...①
 - 2セット1構面: 1820w × 2730h → 6.7倍 → 6.7 × $\alpha = 0.9$ = 6.0倍...② $② \div ① \approx 1.8$ (1セットと2セットの比率が1.8)
 - 1セット1構面: 910w × 2730h → 2.7倍
 - 2セット1構面: 910w × 2730h → 2.7 × 1.8 = 4.8倍 が期待できると考えます
- ②高さ、長さは構造芯 (梁・柱の芯々) で検討で間違いはないですか？
超えた場合、長さに応じて割増しを行えばよろしいですか？

構造芯での検討で問題はありません。
壁長さや壁高さに関しては、日本建築学会刊行「木質系耐力壁形式構造に関するQ&A」に考え方が示されておりますので、該当箇所のコピーを添付させていただきます。